
少年A

水谷遼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

少年A

【Nコード】

N6785E

【作者名】

水谷遼

【あらすじ】

ある進学校に通う中三生仲村翔のブログ。いわゆる「優等生」の彼は、学校・親・周囲の環境によって徐々に心を蝕まれていく……以前連載していたものを全面的に大幅改訂しました。いろんな人に読んでもらいたいと思っております。

4/10 (日)

4/10 (月)

初めまして。今日からブログを書き始めることにしました。まずは自己紹介から。

名前…仲村 翔

年齢…14歳(中3)

誕生日…平成6年8月15日

学校…青峰学園中学校(県内屈指の中高一貫校(らしい)です。成績は…まあまあかな。)

部活…バリバリの帰宅部。本当はテニス部に入りたかったんだけど、親がダメって。

勉強に支障が出るからだって…。

家族構成…父親(48) 母親(45)

弟…修二(13・僕の1歳下で同じ学校です。ちなみに僕より成績はいい。)

ハム(3・ハムスター うわー安易な名前。名付け親は父親。)

今日は休み明けだというのにテストがありました。

正直出来なかったと思います。宿題テキトーにやったし。

あと新学年になったのでクラス分けがありました。

仲がいい奴もそこそこいます。

破滅的にひどかった去年のクラス分けと比べたら格段にいいです。でも、別に新しい学年だからといって期待感も興奮ありません。なんかどーでもよく感じてきました。

小学校までは学校でダントツトップで今思うとちやほやされていたのですが、今は…ね。

しょうがないかなと思っていたんだけどさ、

弟の修二は僕より成績いいんだよね…

少しは立場をわきまえろっつーの。

入試の時勉強教えてやったのは誰だと思ってるんだか。

親も中1までは俺の成績で満足してたのに、

弟が入ってからそれはそれが基準になっちゃったしさ。

慣れるって怖いよね。人格変わるよ。ほんとに。

というわけで、このブログも親に気付かれたらオシマイです（あらゆる面で）。

このブログは一週間に一回のペースで更新しようと思います。
それではさようなら。

4／16（日）

4／16（日）

テストがある程度返ってきました。

数1のあの教員は、一体何者だ？

テストの次の日ソッコーで返ってきたぞ。

まだ自己紹介もやってねーのに。

結果はというと：74点です。

わが目を疑いました。

今まで数学では最低でも80台キープしてたのに…。

これ多分、いや絶対親のせいだぞ。

冬休み中相当プレッシャーかけられたからな。

中2の学期末試験で数学83点とったらなんかご機嫌ナナメで…。

ってか普通にいい点だろが。

つーか74も悪くはないよな。

一般にいうところの「勉強の出来る優秀な生徒」じゃねーのか、まったく。

親は2年前の純真さを取り戻せ。

最初のテストで90点とったら喜んだじゃねーか。

まあ数2の方が（素晴らしい事に）94点もあったから、

数学平均で84点でギリギリセーフだとは思うけどね。

他にも返ってきた教科はあるけど多分来週には全部分かと思うのでそこで一挙に発表します。

そうそう、先週新しいクラスは去年と比べりゃ格段にいいと書きましたが、訂正します。
最低です。

このクラスは黙って授業も受けることが出来ない精神年齢の低い奴らの集合体です。

あと1年もこのクラスなの？勘弁してください。

そもそもこの学校は一応進学校なわけだし、

勉強したくない奴はさっさとやめろっつーの。

何かこんなこと言っていると優等生みたいに聞こえるかな。
さすがにやめとこ。

4／23（日）

4／23（日）

約束していた通りテストの結果を報告します。

国語76点・数学84点・英語83点⇒平均81点・順位23／1
98でした。

全体順位を見る限り悪くはないです。

点数だけ見ると散々ですが。

皆サボったな。

問題は親の対処です。

修二が93・7っていう恐ろしい点数取っちゃったからさ。

順位は6位なんだけど、ライバル的存在に負けたとか言ってるなんか
落ち込んじゃって。

俺なんか一桁とった事1回しかない…。

俺の株がどんどん下がっていつていってるのを感じてます。

最近自分の存在に意義を見出せなくなっています。

成績だけなら上に山ほどいるし、

運動も出来るほうじゃないし、

これといった趣味もないし、

なんか毎日をただ何となく過ごしてる感じがする。

「黙って授業も受けることが出来ない精神年齢の低い奴らの集合体」
がうらやましい。

何も考えずに日々が過ごせて。

きつと人生バラ色だろうな。

すぐ散る事は目に見えてるけどね。

話が脱線しかけたので自分の事に戻します。

なーんか自分の存在に価値を見出せない時があるんだよね。

ほら、小学生ぐらいの時に死ぬ事が妙に恐くて寝れない時あるじゃない。

あんな感じ。

たとえば俺がどんなに物理出来たってニュートンとかいれば意味ないみたいなの。

こんなこといっても伝わらんよね…。

自分がいてもいなくても世の中は変わらなかった、とかだったらイヤじゃない？

それだったら生きている意味無いじゃん。

この世界に生まれたからには、何か自分がいた証拠を残したい。

ま、多分そんなこと出来ないだろうけどね。

4／30（日）

4／30（日）

火曜日遠足だったんですよ。

でもさ、いまさら遊園地はないでしょ。

俺地元だから5歳の時から4、5回行ったことあるんですよ。
去年まではバスで結構遠出してたじゃん。

これ生涯最後の遠足なんですよ。

誰があんな小さいお子様向けの遊具乗るんだよ…。

まあ、大騒ぎして乗ってた奴おったけど。

正直きついです。

俺部活やってないからあまり友達いないし、すっげー退屈でした。
遊具に乗るわけでもなく、どこかの変人のように数学の問題解いたり小説読んだりするわけでもなく（こんな奴いるんですよ）。

それから、昨日からゴールデンウィーク始まったのはいいけど、
どうせだったら連休にしてくれないかな。

休みの途中で1日だけ学校とか相当ウザい。

家族の中では休み中にどっか行こうかみたいな雰囲気になってました、
俺が外出を拒否して終わりました。

家ずっと居ても面白くないけど出かけたって変わんないし、
それなら家のほうがラクでしょ。

親には宿題が終わんないって言ったんだけどね。
そう言っとけば安全でしょう。

テストの結果に親愛なるご両親様はご不満でございますので（やっぱり）。

最近頭痛い。

ストレス性ってやつ？ちがうか。

親に言ったら「あんたみたいなお気楽な人間がそんなわけないでしょ」って言われたし。

決め付けなくてもいいじゃんか。

俺は俺なりに色々あるんだけどな。

だーれも分かってくれないけどね。

話変わるけど修二は異常です。

何が悲しくてあんなに勉強するんだろ。

あいつの部屋から見えない重圧が確実に俺へと迫ってきています。

俺と修二を比べないでもらいたい。何ひとつ勝ってないから。

5／7（日）

5／7（日）

ゴールデンウィーク終わっちゃいました。

体内時計は完全に壊れています（現在完了の文とみなしてください）。

昨日学校あったんだけど、本当しんどい。

毎日3時位まで起きてたからな。

翔一がずっと勉強してて、早寝するのに後ろ髪引かれたわけで。

あいつが大体2時まで勉強やってたんだけど、

それ以上やってるふりをしていたかったんだよね。

というか半強制的感情。

何でこんなにも劣等感抱いてんだろ、オレ……。

それよりさ、テストちょっと多すぎない？明日もあるんだけど。

学校側は生徒を休ませるつもりが一切ないのでしょね。

休みはあくまでも休むためのものであって、

勉強する為のものではないような気がするんですが…。

突然ですが、マラソンのルールって知ってますか？

途中で他の人によりかかったりしたら失格なんだよね。

誰の助けも借りずに自分の力だけでゴールに入らなきゃいけないの。
それも他の人よりいいタイムで。

例えばオリンピックなんかで金メダル候補がいたとして、その人は自分の出来るベストを尽くしたんだけど結果は銀メダルだったとする。

その人は世界で2位なのに、

周りは「精神的に弱い」だの「自分の走りが出来ていない」だのぶつくさ言う。

本人も「全然ダメでした」なんてこと言う。

精神的に弱くてオリンピックで銀メダルなんてとれるのでしょうか？
銀メダルにとって喜んだらいけないんでしょうか？

何でもこーなるのかっていったら、やっぱり「慣れ」なんだと思う。

それに、だんだん欲が出てきちゃうんだよね。

やってる本人に欲が出てきてそれでさらに向上するんだっただけいいんだけど、

周りが欲出したら絶対ダメだよ。

そのうちその人つぶれます。絶対に。

…もう寝ます。

5／14 (日)

5／14 (日)

今週担任との面談があつたんやけどさ、
何の意味もなし。

5分かそこら話したからって何にもならんだろ。
そーいや去年の担任もこんなだったな。

「勉強はどうか？」 「まあまあです。」 「そうか、このままの
調子で頑張れよ。」

だってさ。

ふざけてんの？

このままの調子で行ったら破滅まっしぐらじゃんか。

成績下がってきてんのに…。

俺のことちゃんと見てんのかな。

結局俺みたいな平凡な人間、クラス五十人の中の単なる一生徒なわけだ。

生徒の気持ちなんか考えずに成績表の数字だけ見て適当な言葉をかける。

その繰り返しなんだろうな、きっと。

俺は特別視されたがってるのかもしれないな。

今思ったんだけどさ、

こんなオレでも、小学生の頃は周りよりも格段に勉強が出来て、学校の行事とかにも参加して、

今思ってみると先生から人気だったし、

みんな俺のこと知ってた。

「勉強が出来る仲村さんのところのお子さん」だったもんな。

それがこの学校入ってから、周りは勉強できる奴らばかりで、全く目立たない普通の子になっちゃったんだ。

どうして?.

なんでこんな周りの奴らと一緒にみたいに見られているんだろ。

俺はこんな奴らとは違う。

じゃあ、どこが？

運動面は確実に平凡だ。

それは間違いないだろう。
部活もしてないわけだし。

勉強面？ いや違うだろ。

今の成績でそんなこと言えない。

それなら一体何だ？

他の奴らより優れているところが俺にあるのだろうか。

分かんない。

自分は他の奴らよりも優れていると勝手に思い込んでいただけなのか？

俺は単なる一生徒なのか？

5／21（日）

5／21（日）

この一週間、

自分が他人と違うところはどこか、

他の奴らよりも優れているところは何かを
ずっと考えていました。

どんな些細なことでもいい。

自分はこれなら勝てるというものを見つけない。

答えが分かりました。

ないんです。

クラスというたった50人の世界でも、
自分が他の奴らより優れているところなんかないんです。

ショックでした。

今まで俺は何となく自分のことを周りとは違う、特別な存在と見てきました。

確かに、自分にとってはそうなのでしょう。

でも、それは自分だけのものだったんです。

自分以外の人、たとえ親から見ても、自分は普通の中学生なんです。
俺より勉強もスポーツも出来る修二がいるのなら、

僕が存在に価値なんかないでしょう。

でも、当たり前といえば当たり前のことなのかもしれません。

日本だけでも人の数は1億5000万人、全世界では60億人です。その中で一人の人間の存在なんて、所詮小さなものなのです。

そう、俺はそんな平凡な人間。
取るに足らない普通の中学生。

今までそんなことさえ気付かなかったのです。

小学校時代、俺は明らかに目立った存在でした。
人一倍リーダーシップがあり、勉強も出来ました。
俺は自分の存在をそこに見ていたのです。
他の奴らには代わりが出来ない、優れた存在だと。

だが、自分が平凡な人間、他の奴らと特別な違いがない人間だと知った今、
俺に一体何の意味があるのでしょいか。

話は変わりますが、明後日から中間考査です。

親に15番内に入るように言われました。

冗談じゃないって。

そんなこといちいち指図されたくないわ。

でも、一番悲しいのは、

修二には10番内って言ったことなんです。

修二にとってはラクに超えられるラインなんです。

なのに俺はそれより低いラインにも届かないんです。

弟より低い評価を受ける自分が情けなく、何より腹立たしい。

何か一つでいい。

誰よりも優れているものが欲しい。

他の奴らとは違う自分が欲しい。

5／28（日）

5／28（日）

中間考査が終わりました。

出来は最悪だと思います。

15番内は明らかに無理。

何とかしなかったらパソコン使わしてくれなくなるかも。

別にさ、パソコンがいけないわけじゃないと思わない？

一応やることはやってその後ちよつといじってるだけなのに、

テストの感想言ったら「パソコンばかりやってるからこうなるのよ！」だってさ。

俺のことちゃんと見てたらそうじゃない分かるのに。

どうせ成績表だけ見て全部決めるんだろうけど。

あんな紙切れで日頃の生活までいろいろ言われる筋合いなんか無いわ。

話は変わりますが、昨日歯医者に行ってきました。

テスト終わりで制服を着て行っただんですが、
そこの看護婦さんが

「君、青峰学園の生徒なの？ 頭いいんだね。」 っって言ってきてね…

これには相当腹が立ったわ。

「俺〓青峰学園の生徒〓頭がいい」 っっていう事なんだろうけど、
一くくりに考えないでもらいたい。

第一に他のバカ共と一緒にするな。

それに、俺を評価するのに、学校の名前で判断するな。

俺の価値はそんなことで決まるものじゃないと思うんだけど。

俺のことをろくに知らないのにそんなこと言えるのかよ。

でも、結構こういう人多いよね。

集団の評価をそのまま個人に当てはめて考える人。

何も考えてないっっていうか、バカっっていうか。

ほんとイライラする。

褒め言葉でもムカつくわ。

ここまで書いて気付いたよ。

やっぱり俺は他の奴らと一緒に見られるのが嫌なんだよね。

先週あんなに書いてまだこんな泣き言書いてるし。

でもやっぱり思うんだよね。

自分が欲しい。

自分の居場所が欲しい。

俺って人並みどころかそれ以下の小さな人間だよな。

6／4 (日) (前書き)

小説「少年A」を読んでもうござってありがとうございます。
作者の水谷遼です。

以下の注意を必ず読んで下さい。

・今話より、一部残酷な描写が出てきます。
苦手な方は読まないことをお勧めします。

・この小説は、仲村翔のブログという形をとっていますが、
完全にフィクションの作品です。

登場する人物や出来事は全て架空です。
従いまして、今話以降に描かれているようなことは実際の事件では
ありません。

また、私水谷遼の周りでそのようなことが起こった事はありません。

以上のことを確認した上で今話以降を呼んでください。

今後とも宜しくお願いします。

6／4 (日)

6／4 (日)

家で飼ってたハムスターが昨日死にました。

夕方くらいに泡を吹いてぐったりしているのを修二が見つけた。

ずっと何の異変もなく元気に動き回っていたので、
家族皆うろたえて悲しんでました。

僕以外は。

家族が皆悲しんだり不思議がったりする中、僕だけが平然としていました。

僕がハムスターに愛着を持っていなかったというわけではありません。

むしろ、家族で僕が一番世話をしていました。

なぜなら、僕だけが死んだ理由を知っていたからです。

ハムスターが死んだのは病気なんかではありません。

僕が殺したんです。

昨日の昼です。僕はハムスターが飲む水に洗剤を入れました。

それも大量に。

いつも水は僕が変えていましたので、誰にも気付かれずにできました。

その水をハムスターが飲むのを僕は見ていました。

すると次第に太郎の行動が次第におかしくなってきました。

まず、足取りがおぼつかなくなり、その後仰向けになって苦しそうに悶えていました。

僕に分かるのはそこまでです。

僕は見えていられなくなり、そのまま逃げのように背を向けました。

罪悪感がないといえは嘘になります。

だけでも、そんなものよりも満足感の方がずっと大きい。

他の奴らとは違う自分が欲しい。

他の奴らと一緒に見られるのは嫌だ。

ただそれだけなんです。

今の僕に出来ることは、
こんなことくらいなんですよ。

あっけないほど何もなく一週間が過ぎていきました。
もうみんなハムスターのことなんか忘れてるし。

親父が「次はオウムでも飼おうか」だってさ。

何か肩すかしだな。

夢に出てきてうなされる位のこととは覚悟してたんだけど。

所詮はペット、単なるオウムの代用品。

1週間たって家族が誰も気に止めてないのがその証拠。

別にいてもいなくても変わらない存在。

いるからといって何が変わるわけでもない存在。

俺もそう。

ましてや修二の劣化版。

結局俺の夢はさっさとついえたわけで。

ハムスターくらいだったら何にもなんないか…。

さすがにこれ以上やるのはまずいか。
犯罪になっちゃうね。

いつそのことやっちゃう？

そうしたら特別になれるかな。

やめよ。そんなこと思うなんて精神病んでるよ。

健全でいないとね。

あゝあ、勉強する気起こらない。

言うの忘れてたけどあの学校毎日小テストあるんだよね。
もういいか、面倒だし。

点数悪かったって誰にも迷惑かからないでしょ。
親は無視しておけばいいだけだし。

オレの人生もうすぐGAME OVER。

コンティニューしたい。

次は違う人に生まれたいな。

もういや。

疲れた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6785e/>

少年A

2010年12月17日15時07分発行